

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和5年度		
事業番号	51	事業名	子育てコンシェルジュ事業		担当課		子ども未来課	
			(大事業名) 利用者支援事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-4-19 子育てコンシェルジュ事業	
					決算書ページ		139 ~ 一般	
総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	切れ目のない子育て支援の充実に向け、子ども及びその保護者等、または妊娠している方が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、窓口子育てコンシェルジュを配置し、情報収集と提供を行い、必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施し、支援を行う。		
	政策	1	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援					
	施策	(3)	子育て情報の整理と提供					市民・民間事業者との連携協働の可能性
	開始年度		平成28年度					
その他	終了予定年度		<input type="checkbox"/> 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定				
	根拠法令等		児童福祉法、子ども・子育て支援法					
関連計画		第6次長久手市総合計画、第2期長久手市子ども・子育て支援事業計画						
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000 【事業内容】 教育・保育施設や子育て支援事業を円滑に利用できるようにするために、市窓口子育てコンシェルジュを配置し、保育施設や子育てに関するサービスの利用などの情報提供、相談業務を行う。		【アクションプラン指標】 相談件数 【その他の指標】		相談者は、市役所の担当課を気にせず、気軽にコンシェルジュに相談することができる。また、コンシェルジュが園へ出向き、コンシェルジュの存在をPRすることで、相談者の悩みが深くなる前に相談につなげる。 (成果指標名) 相談件数		大 事 業 共 通 保育施設や子育てに関するサービス等への不安や悩みをもつ保護者の減少	

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2018年) 目標値 (2023年) ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 相談件数	件	基準値	615	見込	742	480	490	500
			目標値	742	実績	423					
	2		基準値		見込						
			目標値		実績						
	3		基準値		見込						
			目標値		実績						
	4		基準値		見込						
			目標値		実績						
エピソード	事業開始からの経緯										
	教育・保育・保健等の子育て支援を円滑に利用できるように、保護者のニーズを保育等のサービスを結びつける必要があるため、窓口の子育てコンシェルジュを配置し、情報収集と提供を行い、必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する。										
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
コロナ禍で行事が中止された期間は、保育園や児童館等に出向いての相談業務が難しかったが、5類移行に伴いR5は保育所入所相談が増加する時期の夏季から秋季にかけ、保育園に出向いて相談を受けることができた。しかしながら、R5は、新たにR6.4私立認可保育所2園新設に関する許認可事務等が生じたため、各種行事等への訪問件数が減少した。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標								
		相談件数		件	R3 年度	▶	R4 年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R6 年度	▶	R7 年度
					509	470	423	480	490				
		成果達成状況						指標目標値の根拠					
	D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						後期アクションプランの目標値を成果指標として設定					
	評価の理由、分析												
	・コロナ禍で行事が中止された期間は、保育園や児童館等に出向いての相談業務が減少。												
	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
	A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		私立保育所の許認可事務が一段落したため、今後は市内の園等をコンシェルジュが訪問し、コンシェルジュの存在をPRすることで、相談者の悩みが深くなる前に相談につなげる。また、保育園へ入所できなかった者へのアフターフォローとして、認可外保育施設の助成金や一時保育の利用について案内し、市の認可保育施設以外の保育についても利用の案内を行う。									
	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
加える変化（ACTION）													

IV 費用	令和7年度予算の方向性 (PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	予算	決算	予算	決算	
		理由		特定財源		3,547	2,973	2,921	2,493	2,491	
		市内の園等をコンシェルジュが訪問し、コンシェルジュの存在をPRすることで、相談者の悩みが深くなる前に相談につなげる。また、保育園へ入所できなかった者へのアフターフォローとして、認可外保育施設の助成金や一時保育の利用について案内し、市の認可保育施設以外の保育についても利用の案内を行うため。				合計額	2,955	2,476	2,431	1,370	2,077
						(内 国費)	2,364	1,981	1,946	685	1,661
						(内 県費)	591	495	485	685	416
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0
		積算額		(内 その他)	0	0	0	0	0	0	
		-		一般財源		592	497	490	1,123	414	
				R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >							
		会計年度任用職員報酬 2,542千円 (2,435千円)									
		会計年度任用職員期末手当 519千円 (487千円)									
		会計年度任用職員勤勉手当 435千円 (0千円)									
		会計年度任用職員通勤費 51千円 (51千円)									
		3年間の推移									